



日本の DOHaD研究の夜明けを 福島から！

講師 日本DOHaD学会代表幹事
福岡 秀興 先生

DOHaDとは？

「小さく生んで大きく育てる」は誤り？

低出生体重児は 将来糖尿病の危険性が高い!?

DOHaD (ドーナッド Developmental Origins of Health and Disease) とは、将来罹る病気のおおもとが胎児期、乳幼児期に作られるという全く新しい考え方です。低出生体重児では将来の疾病リスクがほぼ予想可能とまで言われるまでになってきました。世界では予防を含めた膨大な研究が行われており、新しい医学が始まろうとしています。今回の特別講演では、日本におけるDOHaD研究の第一人者が、DOHaDの最新の知見について、解説、紹介します。

日時：2019年7月22日（月）
18:30-20:00

会場：福島県立医科大学11号館
第1臨床講義室

参加費：無料（申し込み不要）

■主催

「DOHaDの夜明け」研究会

■代表世話人

福島県立医科大学
輸血・移植免疫学講座
教授 池田 和彦

■事務局・連絡先

福島県立医科大学
プログレッシブDOHaD研究講座

教授 志村龍男
024-547-1255・

tshimura@fmu.ac.jp

